

平成22年 5月13日現在

研究種目：基盤研究（C）  
 研究期間：2007～2009  
 課題番号：19530771  
 研究課題名（和文）専門職能開発と省察的授業研究を促す英語科教員養成プログラムに関する日・英間研究  
 研究課題名（英文）A Study on EFL/ESL Teacher Education Programs between Japan and UK: Promoting Professional Development and Reflective Practice  
 研究代表者  
 小嶋 英夫 (KOJIMA HIDEO)  
 弘前大学・教育学部・准教授  
 研究者番号：30310981

研究成果の概要（和文）：英語教員志望生や現職英語教員の専門職能開発と省察的授業研究を促すプログラムを、日・英の研究者の協力を得て開発・実践・研究することにより、日本における効果的な教師教育の理念と今後の研究の方向づけを探求することができた。また、理論と実践の統合の立場から、研究の成果について国内外の学会で個人・協働発表を行い、論文・書籍としても公表することができた。

研究成果の概要（英文）：Through collaboration with Japanese and British researchers, I could promote pre-service and in-service EFL teachers' professional development and reflective practice, and consider the principles of effective teacher education and possible future directions for further research in that field. In light of the integration of theory and practice, I gave individual or collaborative presentations in various conferences inside and outside Japan. I could also publish various papers and books on my research topic.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2008年度	800,000	240,000	1,040,000
2009年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総計	2,600,000	780,000	3,380,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：英語科教員養成、専門職能開発、省察的授業研究、オートノミー、協働

## 1. 研究開始当初の背景

- (1) 教員の専門的資質能力、実践的指導力の向上のために、教育政策として「教員養成過程の質的向上」「教職大学員制度の創設」「教員免許状更新制の導入」が提唱された。
- (2) 英語教育において、指導者が専門的知識・教育学的スキル・人間関係スキル・個人的特性を活用し、理論・実践・研究の統合を通して専門的成長、授業力の向上、教師オートノミーの育成を図ることが期待されている。

識・教育学的スキル・人間関係スキル・個人的特性を活用し、理論・実践・研究の統合を通して専門的成長、授業力の向上、教師オートノミーの育成を図ることが期待されている。

## 2. 研究の目的

英語教員志望生、現職英語教員の専門職能開発と省察的授業研究を推進する大学教員養成学部・大学院プログラムを、日・英の大学間で研究することを目的とする。

## 3. 研究の方法

(1) 英国バーミンガム大学の教授陣を共同研究者として、日・英間の教育政策、大学学部・大学院の教師教育プログラムについて調査・研究する。

(2) 所属学会のメンバーである国内・外の研究者と連携しながら、本研究を全国的・国際的に拡大し、研究発表、シンポジウム開催、論文投稿などで成果を公表する。

(3) 大学を核として、教育委員会、学校などとの連携により、新しい教員養成・教師教育プログラムを開発・実践・研究する。

(4) 大学教師教育実践者・教職志望生・現職教員の協働により、学習者・指導者向けのポートフォリオを活用した省察的授業プログラムを開発・実践・研究する。

## 4. 研究成果

(1) 英国のバーミンガム大学のみならず、ノッティンガム大学、ウオーリック大学、リーズ大学の教師教育者、さらにフィンランド（ヘルシンキ大学）の研究者とも情報交換を図ることができた。これによって、海外研究者との今後の共同研究体制を考慮できた。

(2) 日本教師教育学会全国大会、全国英語教育学会シンポジウム、大学英語教育学会(JACET)全国大会(大会委員長)、JACET支部大会(支部長)を主催したことに加え、JALT国際大会、IATEFL国際大会、学会研究会などで研究成果を発表した。これによって、国内外で研究テーマを共有し合い情報を交換できた。

(3) 県の指導主事・現職教員を対象とする講演会、各種教員研修会、教員免許状更新講習などで、本研究成果に基づき、現職教員向けの指導助言を行い、意識の高揚を図った。

(4) 教職志望生、現職教員との協働で、ポートフォリオを活用した教育実習や省察的授業研究を継続的に実践した。収集した多様なデータの分析結果を、各種研究大会で発表し論文にもまとめた。

(5) JACET50周年記念刊行事業、JALT研究会刊行プロジェクトに、編集者・執筆者として関わり、本研究を執筆内容とする書籍を刊行できた。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 12 件)

- ① Hideo Kojima, Promoting Learner and Teacher Autonomy: Autonomous, Reflective, and Collaborative Approaches to ELT in Higher Education, The JACET Chubu Journal, 査読有、6、2009、1-15
- ② Hideo Kojima, A CARL Approach to Promoting EFL Teacher Trainees' Autonomy in Pre-Service Teacher Education at a Japanese University, Proceedings of the Independent Learning Association 2007 Japan Conference (Online), 査読有、2009
- ③ Hideo Kojima, Head Ellen他5名, Scaffolding: Looking through Learners' Eyes: A Forum about Learner Development Facilitated by Deryn Verity, Proceedings of JALT 2008 International Conference (Online), 査読有、2009
- ④ Hideo Kojima, An Examination of the Characteristics of a Group of Initial Teacher Trainees, Exploration in Teacher Education JALT TE SIG Newsletter, 査読有、17(3)、2009、21-31
- ⑤ Hideo Kojima, Integration of Autonomy, Reflection and Collaboration in Pre- and In-Service EFL Teacher Education, OnCUE Journal, 査読有、6、2008、188-205
- ⑥ Hideo Kojima, Professional Development through Action Research: A Collaborative Approach to Supervising In-Service EFL Teachers, 教員養成学研究, 査読有、4、2008、21-31
- ⑦ Hideo Kojima, A Collaborative, Autonomous, and Reflective Teaching Approach to Student Teaching in Pre-Service EFL Teacher Education: A Case Study, JACET JOURNAL, 査読有、46、2008、1-15
- ⑧ Hideo Kojima, Japanese Secondary school Teachers' Perceptions and Attitudes towards Autonomy and Teacher Education: A Case study, Exploration in Teacher education JALT TE SIG Newsletter, 査読有、16(1)、2008、19-27
- ⑨ Hideo Kojima, Masako Muto, Japanese Upper Secondary School Teachers' Job Satisfaction: An Interview Study, TOHOKU TEFL, 査読有、2、2008、13-27
- ⑩ Hideo Kojima, Hitomi Sasaki, Language Training for EFL Teaching at the University of Toronto, 弘前大学教育学部紀要, 査読無、100、2008、57-68
- ⑪ Hideo Kojima, Kazutoshi Ban, Developing Japanese Upper Secondary School Students' Self-Consciousness of Language Learning Strategies, 東北英

語教育学会研究紀要、査読有、27、2007、79-88

〔学会発表〕（計 10 件）

- ① Hideo Kojima、Developing Teacher-Learner autonomy and Professional Identity: A case of Initial EFL Teachers' Teaching Practice in Japan、IATEFL Learner Autonomy Swon 国際大会、2009 年 12 月 11 日、英国Milton Keynes
- ② Hideo Kojima他、Snapshots: Active Mirrors of Identity、JALT 国際大会、2009 年 11 月 22 日、静岡
- ③ 小嶋英夫他、Effective Research Methodologies on Language Teacher Cognition、第 48 回大学英語教育学会全国大会シンポジウム、2009 年 9 月 5 日、札幌
- ④ 小嶋英夫他、Learner and Teacher Development in English Language Education、大学英語教育学会東北支部大会シンポジウム、2009 年 7 月 4 日、仙台
- ⑤ Hideo Kojima他、“Scaffolding” : Looking through Learners' Eyes、PAC at JALT 2008 国際大会、2008 年 11 月 1 日、東京
- ⑥ 小嶋英夫他、英語教育における言語教師研究、第 47 回大学英語教育学会シンポジウム、2008 年 9 月 12 日、東京
- ⑦ 小嶋英夫他、学習者と指導者の学びと自律を促す英語教育、第 34 回全国英語教育学会問題別討論会、2008 年 8 月 9 日、東京
- ⑧ Hideo Kojima、Promoting Learner and Teacher Autonomy: Autonomous, Reflective, and Collaborative Approaches to ELT in Higher Education、大学英語教育学会中部支部 25 周年記念JACET・JALT合同研究大会基調講演、2008 年 6 月 14 日、名古屋
- ⑨ Hideo Kojima、Collaboration, Autonomy, and Reflection in Pre-service EFL Teacher Education、The Independent Learning Association 国際大会、2007 年 10 月 6 日、東京
- ⑩ Hideo Kojima、A Collaborative, Autonomous, and Reflective Approach to Student Teaching in Pre-service EFL Teacher Education、第 46 回大学英語教育学会全国大会、2007 年 9 月 6 日、広島

〔図書〕（計 4 件）

- ① 小嶋英夫他（編）、大修館書店、英語教育学大系第 6 巻成長する英語学習者、2010、（印刷中）
- ② 小嶋英夫他、大修館、英語教育学大系第 1 巻大学英語教育学、2010、162-173
- ③ 小嶋英夫他、東信堂、教員養成学の誕生、2007、174-196
- ④ 小嶋英夫他（編）、松柏社、高等教育にお

ける英語授業の研究、2007、339（総）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小嶋 英夫 (KOJIMA HIDEO)  
研究者番号：30310981

(2) 研究分担者

( )  
研究者番号：

(3) 連携研究者

( )  
研究者番号：